

草の根技術協力（支援型）事業提案書要約

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	アンゴラ共和国
2. 提案事業名	アンゴラにおける零細農漁業者支援のための技術移転及び経済多角化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	アンゴラは資源が豊富であるにもかかわらず、貧困や経済格差が顕著であり、零細農漁業者の多くが不安定な収入に苦しんでいる。紛争等の影響で、男性人口が少なく、女性や若者が経済的役割を担う必要性が高まっている。
4. プロジェクト目標	アンゴラ共和国ルワンダ市周辺地域の零細農漁業者に対し、日本の先進的な食品加工技術（干物、水産加工、ドライフルーツ製造など）の提供・指導や、アグロフォレストリー実験農場（ダンデ村）での事業化の支援を多主体連携型で実施することで、地域の経済基盤を強化し、持続可能な生活向上を目指す。
5. 対象地域	アンゴラ共和国沿岸地域（ルワンダ市、ダンデ村）
6. 対象地域を管轄する在外公館	駐日アンゴラ共和国大使館
7. 受益者層 (ターゲットグループ)	グループ A：来日研修受講生 グループ B：零細農漁業者：20～50 歳、女性：16～40 歳、若年層：16～25 歳
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 1.農水産加工品の技術移転 2.来日研修による加工技術習得 3.基礎情報の収集と情報発信、現地連携の構築 4.アンゴラでの技術指導・加工食品コンテスト <活 動> 1.オンライン研修の実施及び加工品の発表会の実施 2.干物加工、水産加工、ドライフルーツ製造技術を学ぶ研修、商品のブランディング、ビジネス開発を学ぶ横浜での現地研修を実施 3.現地農水産業の現状を調査し課題解決に必要な人材や外部経営資源を結びつける 4.技術協力のための人員の派遣による技術指導と、関係企業、行政、地域市民との連携強化及びアンゴラ商工会議所等との連携によるコンテストの開催
9. 事業実施期間	2025 年 6 月～2027 年 5 月（2 年間）
10. 事業経費概算総額	10,000,000 円
11. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	ONG OKULTURA：代表：Carla Manuela Ferreira Ladeiro Da Silva Ngunza 副代表：Carla Amélia De Souza Lobo Do Ó Da Silva（オシルバ）
II. 提案団体の概要	
1. 団体名/指定団体名	NPO 法人ブラジルソリダリオ横浜
2. 主な活動内容	国際協カイベントの開催、地域産業と国際連携の拡大に向けた取り組み、多文化共生の促進などを通じて、ポルトガル語圏の幅広い人的ネットワークを持つ。